

環境振動運営委員会 2016年度第3回議事録(案)

- A. 日時 2016年10月3日 月曜日 17:30~20:00
- B. 場所 建築学会 305会議室
- C. 出席者 国松主査 他13名
- D. 提出資料(提出委員名)
- No.3-00 議事次第
 - No.3-01 前回議事録案
 - No.3-02-1 20160912_環境工学本委員会(第3回)議題 sk.doc
 - No.3-02-2 20160912_環境工学本委員会(第3回)資料.pdf
 - No.3-02-3 2016年度大会研究集会資料の会員限定無償公開について.doc
 - No.3-02-4 追加資料1.pdf~追加資料4.pdf
 - No.3-03 2016大会PD記録 160914.pdf
 - No.3-04-1 各小委員会・WG報告,(測定分析小委員会)
 - No.3-04-2 各小委員会・WG報告,(予測解析小委員会)
 - No.3-04-3 各小委員会・WG報告,(環境振動シンポジウム検討WG)
 - No.3-04-4 催し物実施計画書(sympo2017_20160929.xls)
 - No.3-05 2016若手発表集計-最終案.pdf
 - No.3-06 催し物実施計画書(sympo2017_sokutei.xls)

E. 議事内容

O. 前回議事録確認(資料No.3-01)

1. 資料1-02に基づき報告→資料2-02に修正
以上をもって議事録は承認された。

1. 環境工学委員会(本委員会)報告(資料No.3-02-1~4)

- ・資料3-02-1に基づき報告
- 報告事項

(1)大会関係

- 1)大会,若手優秀発表実績環境工学 75/631=12(%)

(11)論文集の国際化に関する動向と、新英文誌検討TFの設置について

p.48,p.49に問題意識, p.55環境系からの提言, p.56学会論文集のあり方, p.60
まとめ, 2017.1から「日本建築学会構造系, 計画系ならびに環境系論文集執筆要
領」の変更, 図表類および参考文献を原則英語表記とする執筆要領の変更

<http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2016/20160726.pdf>

(12)中長期計画への対応について

■建築の未来への貢献—これから10年のビジョンと中長期計画—
報告書 ※サインイン必要

http://www.aij.or.jp/jpn/pdf/2025vision/aij_2025vision_report.pdf

パンフレット

http://www.aij.or.jp/scripts/request/document/aij_2025vision_p.pdf (回覧)

審議事項

1. 業績候補推薦依頼

- (1)教育賞(教育業績)候補業績(締切10月7日(金))
音環境, 九大藤本先生, 九州支部からも推薦

3. 2016年度大会関係事項

(2) デジタルライブラリーアンケート

大会 PD 資料 150 部完売のため「3 ヶ月経過後」無償公開（会員限定）

2. 大会 PD について（資料 No.3-03）

- ・ PD 記録について確認 → 承認

3. 各小委員会・WG 活動報告

3-1. 測定分析小委員会（資料 No.3-04-1）

- ・ 小委員会を 2 回開催，WG を 2 回開催
- ・ 技術報告集投稿内容について
6 月に 2 編投稿，2 編採用
10 月に 1 編再投稿予定⇒2 月に変更
2017/7/4 に測定手法に関するシンポジウムを開催予定
測定分析マニュアルの完成は？
→ 2017/2 にはまとめたい。その際には小委員会で確認後，運営委員会に提出

3-2. 性能評価小委員会活動報告

北方建築総合研究所に鉛直・水平の複合振動を再生できる実験装置があり，見学会を実施（9/20），総勢 10 数名で体感した。

3-3. 環境振動予測解析小委員会活動報告（資料 No.3-04-2）

- ・ 8/29 開催
- ・ 資料に基づいて説明
愛知工業大学での計測(9/14)およびブラインド解析を実施予定
ブラインド解析を実施（検討 1，同一階歩行）

3-4. 環境振動設計ガイド策定小委員会活動報告

- ・ WG を 6 月，9 月に開催，10 月に開催予定
大会 PD の内容を検討した。
質問は設計が多かった。→9 月に WG を開催して議論
SWG（歩行，風，交通）にて，設計指針案を検討
次回は具体例を中心に発表する予定（環境振動シンポジウム）
設計荷重レベルをどのように決定するかを統一したい。
設計指針についても刊行する方向では？
→ 企画刊行小委員会は来年 1 月の環境振動シンポジウムの議論を踏まえて，2017 年度内か 2018 年度に設置予定（年度内に刊行小委員会の設置が可能か事務局に確認する）

3-5. 居住性能評価指針改定小委員会

性能評価法検討 WG（松本）

環境振動シンポジウム企画 WG を受けて，発表者を検討
PD での指摘を受けて非定常の評価について WG にて検討（鉛直，水平）
データを踏まえて検討を進めるとのこと
次回改定小委員会，10/12（水）
交通振動と歩行振動で鉛直はほぼ同じ，水平は風に高周波数側が入るイメージ。
少なくとも鉛直と水平でロジックは同じにしておく必要がある。

3-6. 環境振動シンポジウム検討WG（資料 No.3-04-3, 3-04-4）

- ・資料 No.3-04-3,4 に基づいて説明

9/8WG 開催, プログラム決定, 講演者決定

タイトル（案）：環境振動性能マトリクスを用いた設計

⇒ 性能マトリクスを用いた環境振動設計 に変更 ⇒承認

企画書（2017/1/27 開催）は承認された。

3-7. 広報WG

随時最新情報を更新している。

3-8. 広域評価モニタリングWG

進捗なし

3-9. 戸建て住宅の振動特性WG

戸建てについては別に設計指針などを検討する必要がある。

揺れに関する分かりやすい表現の資料, 紹介

環境省の資料では建設工事に対する苦情件数が一番多いが、ハウスメーカーによる資料では道路交通振動に対するクレームが多い。

4. 若手優秀発表賞について

- ・資料 3-05 に基づいて説明

→ 今年は1名とする。 → 承認

5. 環境振動測定分析シンポジウムについて

- ・資料 3-06 に基づいて説明

→ 開催は 2017/7/4 13:30~17:20

→ 風はなぜないのか？ 現状, 風のメンバーがいなかったため

→ シンポジウムではなく, ワークショップ, フォーラム, 研究会などがないのではないか？

→ 10/21 までに(催しもの企画書(シンポジウム)_2016.xls)を提出する。

→ タイトルは「建築空間内の環境振動測定の現状と課題」がいいのでは？

6. 次年度活動計画他について

以下の資料を確認した。

- ・運営委員会は活動計画のみ（10年のため）
- ・環境振動シンポジウム企画WG（廃止, 設置, 活動計画）
- ・広報WG（廃止, 設置, 活動計画）
- ・広域モニタリングWG（廃止, 設置, 活動計画）
- ・戸建てWG（廃止, 設置, 活動計画）
- ・運営委員会は活動計画のみ（10年のため）
- ・測定分析小委員会は活動計画のみ（4年のため）
- ・性能評価小委員会（廃止, 設置, 活動計画）
- ・予測解析小委員会は活動計画のみ（4年のため）
- ・居住性能評価指針改定小委員会（廃止, 設置, 活動計画）, 要WG関連書類
- ・設計指針策定(ガイド)小委員会（廃止, 設置, 活動計画）, 名称変更, WG活動計画
→ それぞれ主査が見直しを行い, 10/17 までに最終版を保存すること。

7. その他

- ・ 推奨値という表現について（資料 No.3-02-4, 追加資料 2.pdf）
- ・ 目安という表現がよいのではないか。
- ・ 学会の出すものは学術的な根拠に基づくものであり法令の根拠を示すものではない。

- ・ 今後の委員会開催予定

1 回目	2016 年 04 月 22 日（金）	17：30～	建築会館	→	済み
2 回目	2016 年 06 月 21 日（火）	17：30～	建築会館	→	済み
3 回目	2016 年 10 月 03 日（月）	17：30～	建築会館	→	済み
4 回目	2016 年 12 月 05 日（月）	17：30～	建築会館		
5 回目	2017 年 01 月 27 日（金）	10：30～	建築会館		

以上